

2025年1月～3月期中小企業景況調査結果

中小企業の景況感、小幅改善

- 来期も引き続き改善する見通し -

◇調査結果の概要

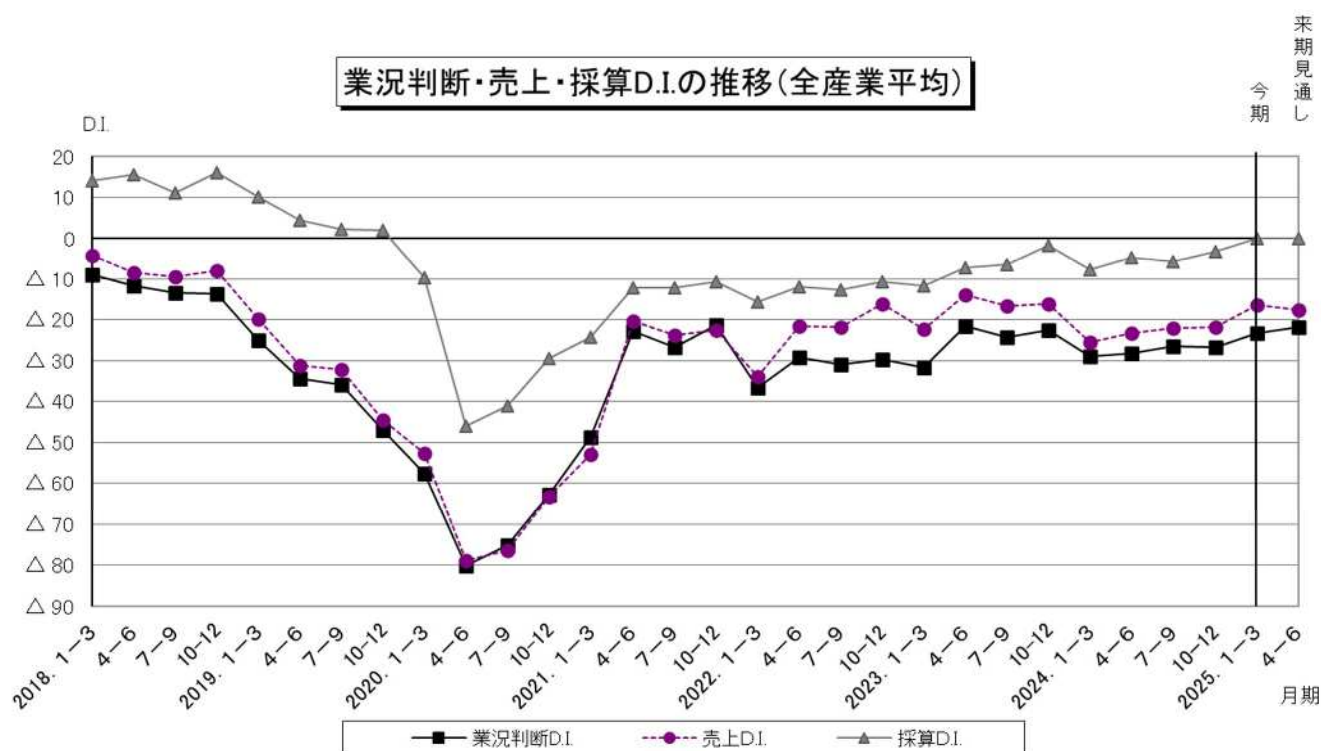
今期は、業況判断、売上及び採算の各 D.I. で前期実績を上回った。（全産業平均）。
来期は、業況判断及び採算 D.I. で前期実績を上回り、売上 D.I. で前期実績を下回る見通し（全産業平均）。

指標別の状況（全産業平均）

- 業況判断 D.I. は、前期実績 $\Delta 26.6$ から $\Delta 23.2$ (3.4 ポイント増) となり、来期は $\Delta 21.8$ (1.4 ポイント増) となる見通し。
- 売上 D.I. は、前期実績 $\Delta 21.7$ から $\Delta 16.4$ (5.3 ポイント増) となり、来期は $\Delta 17.5$ (1.1 ポイント減) となる見通し。
- 採算 D.I. は、前期実績 $\Delta 3.3$ から $\Delta 0.1$ (3.2 ポイント増) となり、来期は 0.0 (0.1 ポイント増) となる見通し。

産業別の状況

- 製造業では、業況判断、売上及び採算の各 D.I. で前期実績を上回った。
- 卸・小売業では、業況判断、売上及び採算の各 D.I. で前期実績を上回った。
- 建設業では、業況判断、売上及び採算の各 D.I. で前期実績を下回った。
- サービス業では、業況判断、売上及び採算の各 D.I. で前期実績を下回った。



調査時期: 2025年3月1日から3月10日まで
調査対象: 中小企業 2,000 社 (回答社数 1,012 社 回答率 50.6%)

業況判断D. I. の推移

業種	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期	2025年1-3月期（今期）	2025年4-6月期（来期）
全産業	△ 28.9 (△ 19.4)	△ 28.3 (△ 17.2)	△ 26.5 (△ 20.8)	△ 26.6 (△ 19.9)	↗ △ 23.2 (△ 25.9)	↗ △ 21.8
製造業	△ 33.7 (△ 13.6)	△ 29.7 (△ 17.4)	△ 27.5 (△ 19.2)	△ 27.6 (△ 18.8)	↗ △ 20.3 (△ 23.7)	↗ △ 19.8
卸・小売業	△ 26.0 (△ 32.4)	△ 35.3 (△ 20.7)	△ 35.2 (△ 31.1)	△ 35.3 (△ 27.7)	↗ △ 33.8 (△ 34.5)	↗ △ 31.3
建設業	△ 14.1 (△ 25.4)	△ 13.4 (△ 17.2)	△ 9.5 (△ 19.4)	△ 11.9 (△ 10.9)	↘ △ 32.7 (△ 28.3)	↗ △ 23.1
サービス業	△ 15.2 (△ 21.1)	△ 11.9 (△ 8.1)	△ 8.8 (△ 7.1)	△ 8.4 (△ 12.9)	↘ △ 10.6 (△ 17.9)	→ △ 10.6

() 内は1期前における当期見通し

売上D. I. の推移

業種	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期	2025年1-3月期（今期）	2025年4-6月期（来期）
全産業	△ 25.4 (△ 16.7)	△ 23.3 (△ 16.4)	△ 22.0 (△ 20.1)	△ 21.7 (△ 18.5)	↗ △ 16.4 (△ 22.1)	↘ △ 17.5
製造業	△ 30.8 (△ 11.3)	△ 24.7 (△ 16.4)	△ 23.3 (△ 18.7)	△ 23.6 (△ 18.0)	↗ △ 14.2 (△ 21.7)	↘ △ 16.9
卸・小売業	△ 22.3 (△ 25.9)	△ 29.5 (△ 20.3)	△ 26.2 (△ 28.6)	△ 24.1 (△ 26.6)	↗ △ 23.8 (△ 24.7)	↗ △ 22.6
建設業	△ 1.6 (△ 21.1)	1.5 (△ 10.9)	△ 14.1 (△ 19.4)	△ 18.3 (△ 10.9)	↘ △ 21.2 (△ 21.7)	↗ △ 19.2
サービス業	△ 13.4 (△ 26.3)	△ 14.9 (△ 10.8)	△ 7.8 (△ 10.1)	△ 5.3 (△ 5.9)	↘ △ 9.6 (△ 18.9)	↗ △ 7.4

() 内は1期前における当期見通し

採算D. I. の推移

業種	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期	2025年1-3月期（今期）	2025年4-6月期（来期）
全産業	△ 7.6 (△ 1.1)	△ 4.8 (0.0)	△ 5.8 (△ 2.2)	△ 3.3 (△ 1.7)	↗ △ 0.1 (△ 3.7)	↗ 0.0
製造業	△ 11.5 (0.6)	△ 6.2 (△ 0.9)	△ 8.2 (△ 2.3)	△ 4.9 (△ 3.7)	↗ 0.2 (△ 5.4)	↘ △ 0.7
卸・小売業	△ 10.4 (△ 10.9)	△ 12.0 (△ 6.3)	△ 12.1 (△ 11.7)	△ 10.3 (△ 10.9)	↗ △ 6.1 (△ 8.1)	↗ △ 5.2
建設業	20.3 (4.2)	24.2 (9.4)	22.6 (18.2)	23.7 (23.8)	↘ 15.4 (6.8)	↘ 11.5
サービス業	5.4 (7.9)	3.0 (13.5)	8.8 (8.1)	6.3 (18.8)	↘ 4.3 (9.6)	↗ 10.8

() 内は1期前における当期見通し

設備投資実施率の推移

業種	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期	2025年1-3月期（今期）	2025年4-6月期（来期）
全産業	28.5% (29.6%)	27.6% (29.3%)	27.7% (25.4%)	27.5% (25.2%)	↘ 26.0% (26.9%)	↗ 27.4%
製造業	33.1% (35.9%)	30.9% (34.6%)	31.7% (29.8%)	29.9% (29.8%)	↘ 28.1% (30.3%)	↗ 30.1%
卸・小売業	19.0% (18.1%)	19.5% (19.5%)	21.1% (15.5%)	21.1% (15.7%)	↘ 21.0% (17.9%)	↘ 20.9%
建設業	26.6% (18.3%)	26.9% (20.3%)	23.4% (21.2%)	30.5% (25.0%)	↘ 26.9% (25.0%)	↘ 23.1%
サービス業	22.3% (24.1%)	24.8% (23.4%)	20.8% (21.2%)	25.3% (18.6%)	↘ 24.5% (27.4%)	↗ 28.3%

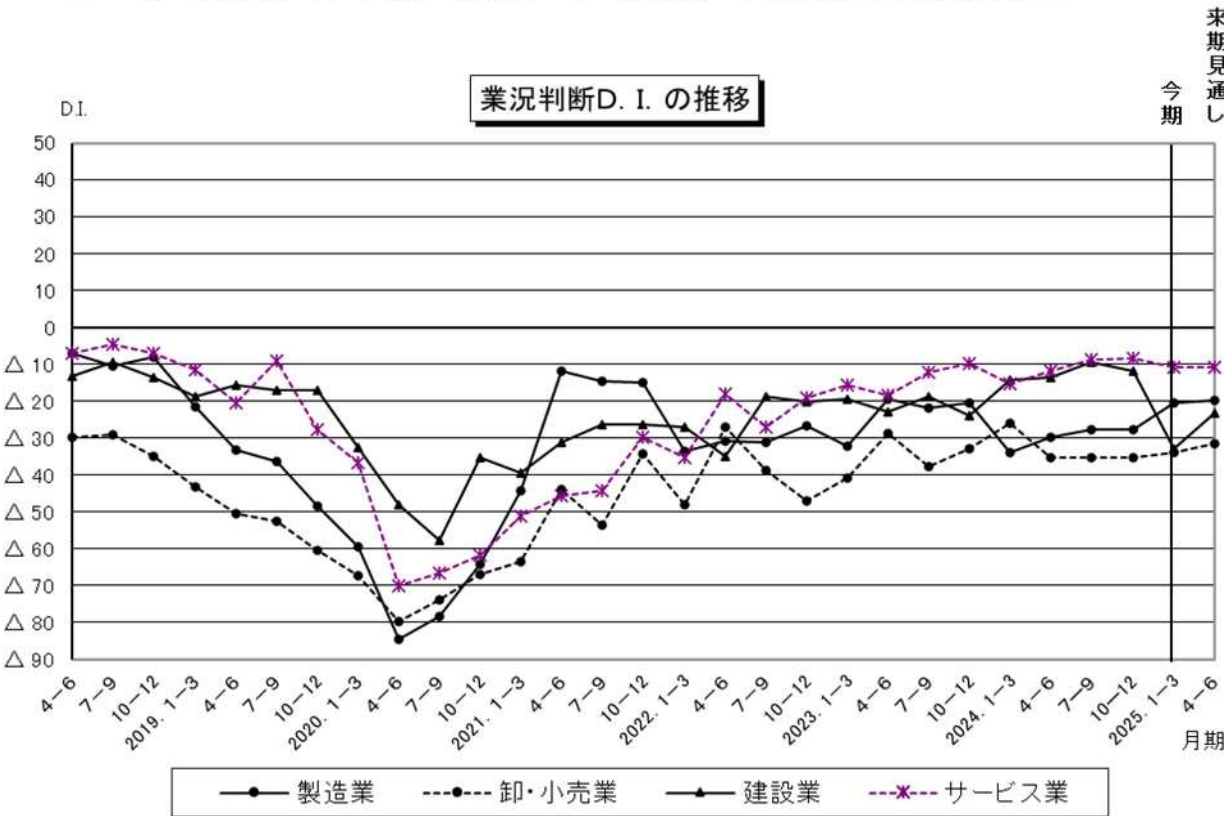
() 内は1期前における当期見通し

今期（2025年1月～3月期）の実績

1 業況判断D.I.

業種	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3 (今期)	2025 4-6 (来期)
全産業	△ 28.9	△ 28.3	△ 26.5	△ 26.6	↗ △ 23.2	↗ △ 21.8
製造業	△ 33.7	△ 29.7	△ 27.5	△ 27.6	↗ △ 20.3	↗ △ 19.8
食料品	6.3	6.6	0.0	△ 3.6	↘ △ 22.4	↗ △ 7.0
繊維工業	△ 39.7	△ 44.1	△ 44.9	△ 32.2	↘ △ 33.3	↗ △ 29.8
木材・木製品	△ 28.9	△ 50.0	△ 50.0	△ 44.4	↗ △ 22.2	↗ △ 16.7
家具・装備品	△ 50.0	△ 36.4	△ 69.2	△ 33.3	↗ △ 27.3	→ △ 27.3
紙・加工品	△ 40.6	△ 31.3	△ 23.3	△ 40.6	↗ △ 24.0	↗ △ 8.0
印刷	△ 45.8	△ 42.9	△ 46.2	△ 42.3	↗ △ 41.7	↗ △ 37.5
化学・ゴム	△ 45.5	△ 10.3	△ 11.1	△ 17.4	↗ △ 8.3	↗ △ 4.1
窯業・土石	△ 33.3	△ 38.3	△ 48.0	△ 31.3	↗ △ 24.4	↘ △ 38.6
鉄鋼・非鉄	△ 50.0	△ 54.3	△ 52.4	△ 55.6	↗ △ 40.0	↗ △ 36.7
金属製品	△ 45.9	△ 44.7	△ 35.9	△ 28.3	↗ △ 20.7	↘ △ 27.3
一般・精密機器	△ 23.6	△ 9.4	1.9	△ 18.2	↗ 0.0	→ 0.0
電気機器	△ 43.3	△ 48.5	△ 20.7	△ 24.2	↘ △ 46.4	↗ △ 28.6
輸送機器	△ 22.0	△ 8.0	△ 5.0	△ 21.4	↗ 2.7	↘ △ 9.3
卸・小売業	△ 26.0	△ 35.3	△ 35.2	△ 35.3	↗ △ 33.8	↗ △ 31.3
卸売業	△ 22.4	△ 32.5	△ 32.0	△ 33.1	↘ △ 33.6	↗ △ 29.3
小売業	△ 31.6	△ 40.0	△ 39.8	△ 38.1	↗ △ 34.0	→ △ 34.0
建設業	△ 14.1	△ 13.4	△ 9.5	△ 11.9	↘ △ 32.7	↗ △ 23.1
建築業	△ 10.0	△ 7.9	△ 5.1	△ 18.8	↘ △ 37.9	↘ △ 41.4
土木業	△ 20.8	△ 20.7	△ 16.7	△ 3.7	↘ △ 26.1	↗ 0.0
サービス業	△ 15.2	△ 11.9	△ 8.8	△ 8.4	↘ △ 10.6	→ △ 10.6
物品賃貸業	△ 17.4	△ 5.1	△ 2.8	△ 16.2	↘ △ 21.9	↗ △ 12.5
情報サービス業	△ 8.2	△ 19.1	△ 14.6	△ 4.4	↗ 0.0	↘ △ 16.7
広告業	△ 29.4	△ 6.7	△ 5.6	0.0	↘ △ 21.4	↗ 14.3

※ 業況判断D.I.は、前年同期と比べて総合的な景況判断が「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。
※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。



2 売上D.I.

業種	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3(今期)	2025 4-6(来期)
全産業	△ 25.4	△ 23.3	△ 22.0	△ 21.7	↗ △ 16.4	↘ △ 17.5
製造業	△ 30.8	△ 24.7	△ 23.3	△ 23.6	↗ △ 14.2	↘ △ 16.9
食料品	11.1	21.3	10.8	16.4	↘ △ 6.9	↗ 12.3
繊維工業	△ 36.5	△ 39.7	△ 40.6	△ 30.5	↘ △ 31.6	↗ △ 29.8
木材・木製品	△ 36.8	△ 50.0	△ 45.0	△ 50.0	↗ △ 13.9	↘ △ 16.7
家具・装備品	△ 28.6	△ 27.3	△ 61.5	△ 25.0	↘ △ 45.5	↗ △ 36.4
紙・加工品	△ 15.6	△ 12.5	△ 26.7	△ 28.1	↗ △ 24.0	↗ △ 20.0
印刷	△ 54.2	△ 50.0	△ 57.7	△ 50.0	↗ △ 37.5	↗ △ 25.0
化学・ゴム	△ 40.0	△ 13.8	5.6	△ 6.5	↗ 4.1	↗ 6.1
窯業・土石	△ 35.4	△ 38.3	△ 50.0	△ 29.2	↗ △ 22.2	↘ △ 31.1
鉄鋼・非鉄	△ 52.9	△ 42.9	△ 50.0	△ 48.1	↗ △ 30.0	→ △ 30.0
金属製品	△ 43.6	△ 29.3	△ 29.5	△ 29.1	↗ △ 12.4	↘ △ 24.0
一般・精密機器	△ 16.1	△ 17.0	1.9	△ 15.9	↗ △ 4.4	↗ △ 4.4
電気機器	△ 40.0	△ 48.5	△ 27.6	△ 21.9	↘ △ 35.7	↗ △ 28.6
輸送機器	△ 22.9	△ 9.2	0.0	△ 17.1	↗ 6.7	↘ △ 16.0
卸・小売業	△ 22.3	△ 29.5	△ 26.2	△ 24.1	↗ △ 23.8	↗ △ 22.6
卸売業	△ 15.6	△ 24.5	△ 17.6	△ 18.9	↘ △ 20.9	↗ △ 17.3
小売業	△ 32.6	△ 37.8	△ 38.8	△ 30.9	↗ △ 27.8	↘ △ 29.9
建設業	△ 1.6	1.5	△ 14.1	△ 18.3	↘ △ 21.2	↗ △ 19.2
建築業	5.0	10.5	△ 15.0	△ 24.2	↘ △ 31.0	↘ △ 34.5
土木業	△ 12.5	△ 10.3	△ 12.5	△ 11.1	↗ △ 8.7	↗ 0.0
サービス業	△ 13.4	△ 14.9	△ 7.8	△ 5.3	↘ △ 9.6	↗ △ 7.4
物品賃貸業	△ 13.0	△ 5.1	8.3	△ 5.4	↗ 0.0	↘ △ 3.1
情報サービス業	△ 4.1	△ 19.1	△ 22.9	△ 4.4	↘ △ 10.4	↘ △ 16.7
広告業	△ 41.2	△ 26.7	0.0	△ 7.7	↘ △ 28.6	↗ 14.3

※ 売上 D.I.は、前年同期と比べて売上が「増加」したとする企業割合から「減少」したとする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

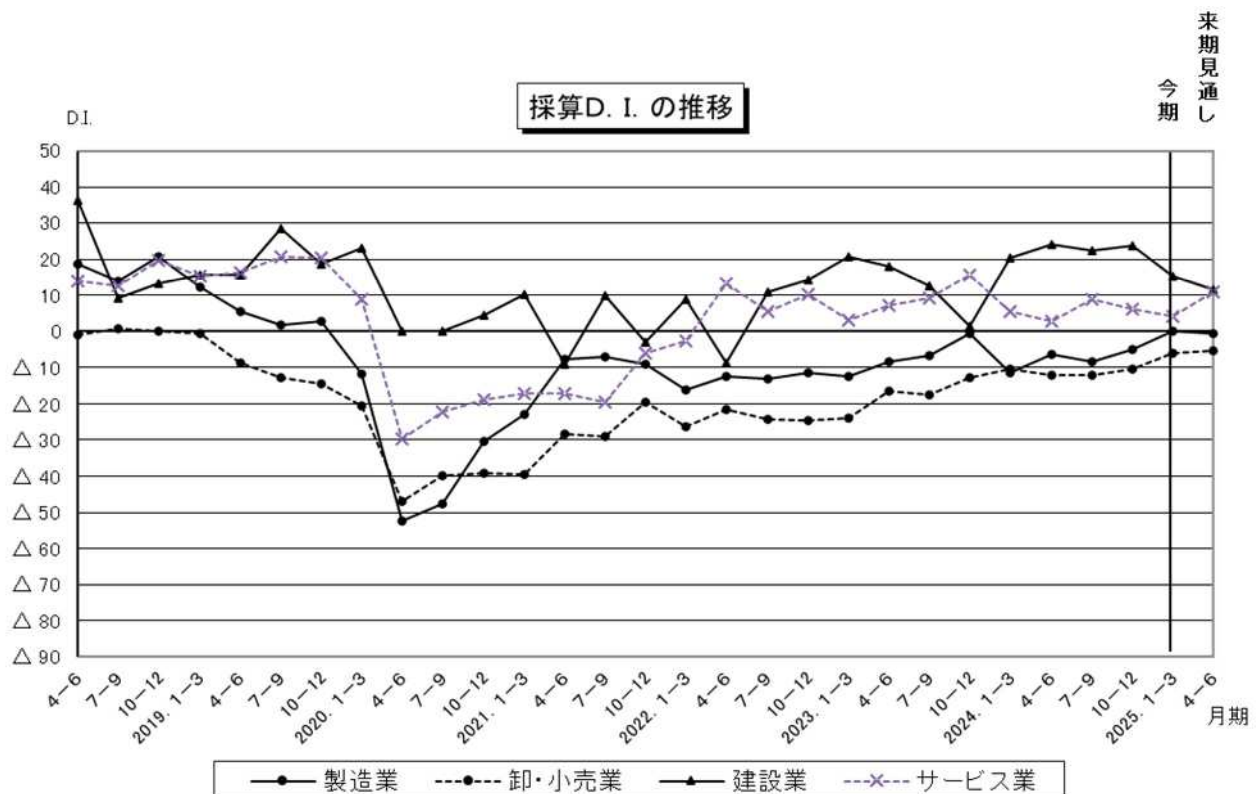


3 採算D. I.

業種	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3(今期)	2025 4-6(来期)
全産業	△ 7.6	△ 4.8	△ 5.8	△ 3.3	↗ △ 0.1	↗ 0.0
製造業	△ 11.5	△ 6.2	△ 8.2	△ 4.9	↗ 0.2	↘ △ 0.7
食料品	9.7	18.0	15.4	7.3	↘ 1.7	↗ 22.4
繊維工業	△ 19.0	△ 16.2	△ 18.8	△ 13.6	↘ △ 21.1	↗ △ 14.0
木材・木製品	△ 15.8	△ 17.4	△ 35.0	△ 22.2	↗ △ 2.8	↘ △ 5.6
家具・装備品	△ 7.1	△ 36.4	△ 76.9	△ 41.7	↗ 9.1	↘ △ 18.2
紙・加工品	0.0	△ 6.3	△ 3.3	3.1	↗ 4.0	↘ △ 4.0
印刷	△ 45.8	△ 39.3	△ 38.5	△ 26.9	↘ △ 33.3	↘ △ 37.5
化学・ゴム	3.6	13.8	18.5	17.8	↘ 16.3	↗ 18.4
窯業・土石	△ 14.6	△ 10.6	△ 32.0	△ 22.9	↗ △ 8.9	→ △ 8.9
鉄鋼・非鉄	△ 23.5	△ 2.9	△ 4.8	△ 7.4	↗ 0.0	→ 0.0
金属製品	△ 28.8	△ 18.8	△ 15.9	△ 12.8	↗ 0.0	↘ △ 7.5
一般・精密機器	8.9	△ 7.5	5.8	25.0	↘ 4.5	↗ 9.1
電気機器	△ 13.3	△ 15.2	△ 17.2	0.0	↘ △ 3.6	↘ △ 10.7
輸送機器	△ 3.6	16.1	16.3	4.3	↗ 18.7	↘ 10.7
卸・小売業	△ 10.4	△ 12.0	△ 12.1	△ 10.3	↗ △ 6.1	↗ △ 5.2
卸売業	0.0	1.3	2.0	7.1	↘ 5.2	↗ 7.5
小売業	△ 26.6	△ 34.4	△ 33.0	△ 33.0	↗ △ 21.6	↘ △ 22.7
建設業	20.3	24.2	22.6	23.7	↘ 15.4	↘ 11.5
建築業	17.5	32.4	18.4	3.1	↗ 10.3	↘ △ 3.4
土木業	25.0	13.8	29.2	48.1	↘ 21.7	↗ 30.4
サービス業	5.4	3.0	8.8	6.3	↘ 4.3	↗ 10.8
物品賃貸業	19.6	20.5	27.8	13.5	↗ 18.8	↘ 15.6
情報サービス業	0.0	△ 12.8	△ 2.1	6.7	→ △ 2.1	↗ 4.2
広告業	△ 18.8	6.7	0.0	△ 15.4	↗ △ 7.1	↗ 23.1

※ 採算D.I.は、当期採算が「黒字」とする企業割合から「赤字」とする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

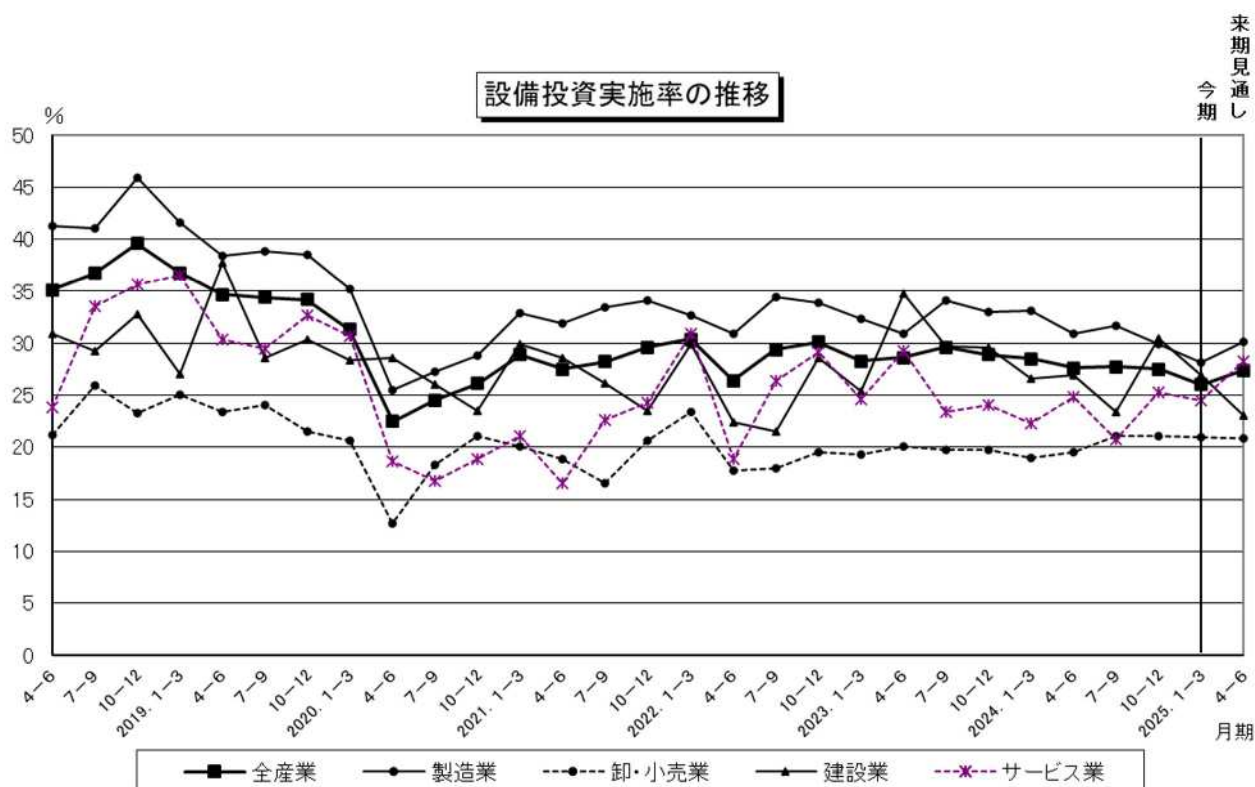


4 設備投資実施率

業種	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3 (今期)	2025 4-6 (来期)
全産業	28.5	27.6	27.7	27.5	26.0	27.4
製造業	33.1	30.9	31.7	29.9	28.1	30.1
食料品	40.3	45.9	47.7	47.3	36.2	39.7
繊維工業	22.2	19.1	20.3	15.3	19.3	14.0
木材・木製品	18.4	10.9	15.0	5.7	5.6	20.0
家具・装備品	28.6	54.5	23.1	33.3	45.5	18.2
紙・加工品	38.7	31.3	26.7	34.4	28.0	36.0
印刷	20.8	10.7	11.5	19.2	20.8	12.5
化学・ゴム	43.6	34.5	37.0	32.6	32.7	34.7
窯業・土石	35.4	38.3	26.0	35.4	29.5	29.5
鉄鋼・非鉄	26.5	31.4	23.8	37.0	30.0	30.0
金属製品	29.3	26.3	33.3	27.8	27.5	29.8
一般・精密機器	33.9	30.2	32.7	29.5	13.6	13.3
電気機器	23.3	24.2	20.7	18.2	10.7	25.0
輸送機器	48.2	47.1	51.3	42.9	50.7	54.7
卸・小売業	19.0	19.5	21.1	21.1	21.0	20.9
卸売業	13.6	21.9	22.2	21.3	19.4	17.3
小売業	27.4	15.6	19.4	20.8	23.2	25.8
建設業	26.6	26.9	23.4	30.5	26.9	23.1
建築業	17.5	18.4	17.5	18.8	13.8	10.3
土木業	41.7	37.9	33.3	44.4	43.5	39.1
サービス業	22.3	24.8	20.8	25.3	24.5	28.3
物品賃貸業	19.6	28.2	27.8	18.9	25.0	31.3
情報サービス業	30.6	27.7	18.8	28.9	27.1	27.7
広告業	5.9	6.7	11.8	30.8	14.3	23.1

※ 設備投資実施率は、当期において設備投資を「行った」とする企業の割合。なお、来期については、設備投資計画が「ある」とする企業の割合。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

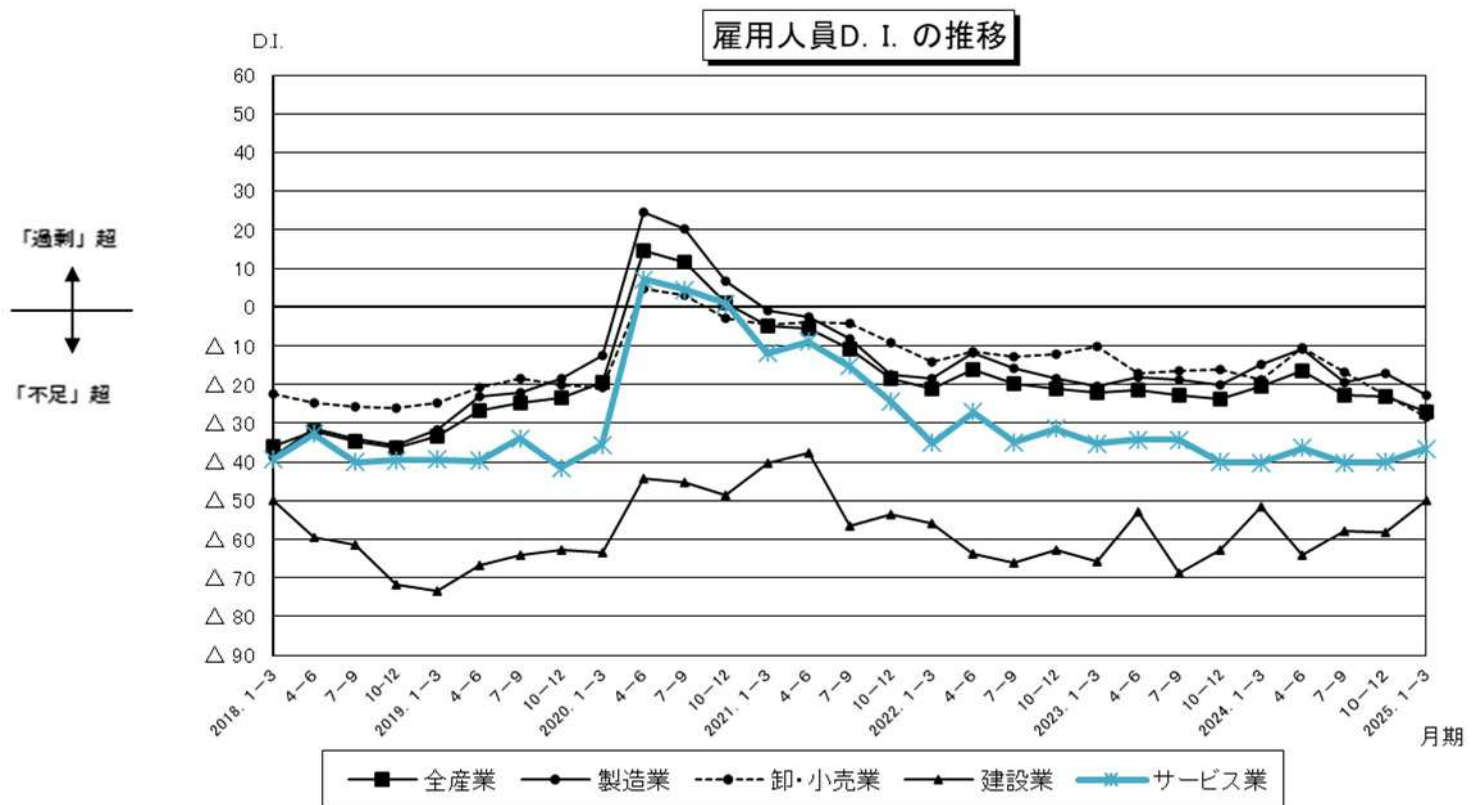


5 資金繰りD. I.

資金繰り D. I. 「好転」-「悪化」	業種	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期	2025年1-3月期 (今期)	2025年4-6月期 (来期)
	全産業	△ 20.7	△ 19.7	△ 19.3	△ 20.4	△ 19.3	△ 18.8
	製造業	△ 21.0	△ 19.0	△ 20.4	△ 19.2	△ 15.6	△ 18.1
	卸・小売業	△ 24.4	△ 24.6	△ 21.9	△ 26.8	△ 27.3	△ 22.6
	建設業	△ 15.6	△ 9.0	△ 7.9	△ 18.3	△ 26.9	△ 21.2
	サービス業	△ 14.3	△ 19.8	△ 12.7	△ 13.8	△ 19.1	△ 12.9

6 雇用人員D. I.

雇用人員 D. I. 「過剰」-「不足」	業種	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期	2025年1-3月期 (今期)
	全産業	△ 20.5	△ 16.3	△ 22.9	△ 23.1	△ 26.9
	製造業	△ 14.9	△ 10.9	△ 19.3	△ 17.2	△ 22.9
	卸・小売業	△ 18.7	△ 10.4	△ 16.9	△ 22.9	△ 28.3
	建設業	△ 51.6	△ 64.2	△ 57.8	△ 58.3	△ 50.0
	サービス業	△ 40.2	△ 36.4	△ 40.2	△ 40.0	△ 36.6



7 金融機関の貸出態度D. I.

貸出態度 D. I. 「緩い」-「厳しい」	業種	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期	2025年1-3月期 (今期)
	全産業	4.0	3.4	1.4	0.7	△ 1.0
	製造業	5.8	5.7	1.2	0.5	0.7
	卸・小売業	△ 4.3	△ 5.7	△ 4.6	△ 2.4	△ 5.4
	建設業	12.5	13.4	20.3	11.7	11.5
	サービス業	5.8	2.2	5.4	2.4	△ 8.2

8 価格の動向

(1) 販売価格D. I.

販売価格 D. I. 「上昇」-「低下」	業種	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期	2025年1-3月期 (今期)
	製造業	22.5	30.3	24.7	25.3	27.2
	卸・小売業	39.7	41.1	42.4	42.6	49.4
	サービス業	1.8	8.2	5.0	3.2	4.3

(2) 仕入価格等D. I.

仕入価格等 「上昇」-「低下」	業種	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期	2025年1-3月期 (今期)
主要原材料 価格D. I.	製造業	70.1	78.7	73.0	71.6	71.7
仕入価格 D. I.	卸・小売業	85.1	83.8	78.8	81.2	86.1
主要資材 価格D. I.	建設業	82.8	80.6	76.6	81.7	78.8

9 設備稼働状況D. I.

設備稼働 状況D. I. 「上昇」-「低下」	業種	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期	2025年1-3月期 (今期)
	製造業	△ 29.8	△ 26.4	△ 23.1	△ 23.7	△ 18.4

10 顧客（受注先）数D. I.

顧客数 D. I. 「増加」-「減少」	業種	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期	2025年1-3月期 (今期)
	サービス業	△ 9.9	△ 9.2	△ 7.9	△ 12.5	△ 11.8

11 在庫水準D. I.

在庫水準 D. I. 「過剰」-「不足」	業種	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期	2025年1-3月期 (今期)
	製造業	14.9	11.8	11.1	10.1	7.2
	卸・小売業	10.4	14.1	8.6	9.4	9.1

12 経営上の問題点

＜調査方法＞以下の項目から、2つまで選択。

【製造業】

- ・売上の不振
- ・原材料高
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・製品安・値下げの要請
- ・エネルギー費用の増加
- ・その他

【卸・小売業】

- ・売上の不振
- ・仕入価格の上昇
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・大型店・新業態の小売店進出
- ・店舗の狭小老朽化
- ・その他

【建設業】

- ・受注の不振
- ・資材高
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・受注単価引き下げ要請
- ・その他

【サービス業】

- ・売上の不振
- ・外注コスト増
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・受注単価引き下げ要請
- ・新規参入増
- ・その他

業種	2024年7-9月期(前々期)		2024年10-12月期(前期)		順位	2025年1-3月期(今期)	
製造業	原材料高	48.9%	原材料高	53.1%	1位	原材料高	47.4%
	売上の不振	45.5%	エネルギー費用の増加	43.5%	2位	売上の不振	41.9%
	人件費の増加	35.2%	売上の不振	33.6%	3位	人件費の増加	37.9%
卸・小売業	仕入価格の上昇	54.1%	仕入価格の上昇	55.4%	1位	仕入価格の上昇	56.8%
	売上の不振	52.5%	売上の不振	49.5%	2位	売上の不振	48.9%
	人件費の増加	30.2%	人件費の増加	25.2%	3位	人件費の増加	27.1%
建設業	人手不足	53.1%	資材高	66.1%	1位	資材高	59.6%
	資材高	51.6%	人手不足	52.5%	2位	人手不足	50.0%
	人件費の増加	32.8%	受注の不振	32.2%	3位	受注の不振	34.6%
サービス業	売上の不振	45.8%	売上の不振	44.0%	1位	人手不足	38.0%
	人件費の増加	34.4%	人手不足	36.3%		売上の不振	38.0%
	人手不足	33.3%	人件費の増加	31.9%	3位	人件費の増加	34.8%

※ 本調査は9つの項目から2つまでを選択する設問のため、回答の合計は100%を超える。

13 行政が今後強化すべき支援策

＜調査方法＞ 以下の項目から、3つまで選択。

- ・金融支援
- ・経営指導・相談
- ・技術開発・指導
- ・下請適正取引の推進
- ・省エネ支援
- ・雇用維持支援
- ・人材確保支援
- ・人材育成支援
- ・その他

業種	順位	2024年7-9月期(前期)		2024年10-12月期(今期)		2025年1-3月期(今期)	
全産業	1位	金融支援	42.1%	金融支援	43.5%	人材確保支援	42.3%
	2位	雇用維持支援	41.7%	人材確保支援	41.8%	金融支援	41.7%
		人材確保支援					
	3位	下請適正取引の推進	32.3%	雇用維持支援	41.2%	雇用維持支援	40.1%
製造業	1位	雇用維持支援	42.4%	雇用維持支援	42.0%	人材確保支援	42.7%
	2位	人材確保支援	41.4%	金融支援	40.5%	雇用維持支援	40.7%
	3位	下請適正取引の推進	40.4%	下請け適正取引の推進	39.5%	下請適正取引の推進	38.9%
卸・小売業	1位	金融支援	54.2%	金融支援	56.5%	金融支援	54.9%
	2位	雇用維持支援	39.4%	人材確保支援	36.8%	雇用維持支援	38.1%
	3位	人材確保支援	35.2%	雇用維持支援	36.4%	人材確保支援	35.8%
建設業	1位	人材確保支援	63.5%	人材確保支援	67.8%	人材確保支援	58.8%
	2位	雇用維持支援	41.3%	雇用維持支援	49.2%	雇用維持支援	47.1%
	3位	人材育成支援	34.9%	金融支援	35.6%	金融支援	37.3%
サービス業	1位	人材確保支援	45.6%	人材確保支援	54.9%	人材確保支援	45.6%
	2位	金融支援	44.4%	雇用維持支援	41.8%	人材育成支援	44.4%
	3位	雇用維持支援	43.3%	金融支援	38.5%	雇用維持支援	37.8%

※ 本調査は9つの項目から3つまでを選択する設問のため、回答の合計は100%を超える。

【トピックス調査】

＜価格転嫁の影響＞

1 価格転嫁の状況

業種	価格転嫁の状況					
	全くできていない (2割未満)	2割以上5割未満	5割以上8割未満	8割以上	分からない	価格転嫁の 必要がない
全産業	18.4% (18.4%)	23.9% (24.0%)	23.3% (23.8%)	22.2% (20.2%)	7.4% (8.1%)	4.8% (5.5%)
製造業	16.9% (19.2%)	26.0% (24.0%)	26.6% (28.2%)	21.4% (19.0%)	6.2% (7.0%)	2.9% (2.6%)
卸・小売業	16.6% (13.3%)	22.0% (23.7%)	19.3% (20.9%)	29.6% (27.5%)	7.6% (8.4%)	4.9% (6.2%)
建設業	17.6% (13.3%)	13.7% (26.7%)	27.5% (10.0%)	21.6% (26.7%)	15.7% (13.3%)	3.9% (10.0%)
サービス業	33.3% (28.6%)	21.1% (23.1%)	10.0% (12.1%)	10.0% (6.6%)	8.9% (10.9%)	16.7% (18.7%)

※カッコ内は前回調査（2024 年 10 月～12 月期）

2 価格転嫁が「全くできていない（2割未満）」あるいは「2割以上5割未満」の場合、価格転嫁が進まない理由

業種		取引への悪影響を恐 れて価格交渉の申し 出ができなかった	取引先へ価格交渉を 申し出たが、交渉自 体に応じてもらえな かった	取引先と価格交渉を 行ったが、満足のいく 結果にならなかった	取引先との交渉方法 がわからない	消費者から理解が得 られ難い	その他
	全産業	25.5%	10.1%	38.2%	3.4%	14.3%	8.5%
	製造業	24.8%	9.6%	48.5%	3.0%	8.5%	5.6%
	卸・小売業	20.0%	8.4%	16.8%	6.3%	34.7%	13.8%
	建設業	31.6%	21.1%	26.3%	0.0%	5.3%	15.7%
	サービス業	37.3%	11.8%	27.5%	2.0%	9.8%	11.6%

<BCP の策定について>

1 BCP の策定状況

BCPの策定状況

□策定済 □策定中 □検討中 ■関心はあるが未着手 ■関心がない・BCPを知らない



2 BCP 策定に当たっての最も大きな課題

業種	他に優先業務を抱え余力がない	人材不足	策定方法がわからない	予算がない	必要性が低い	策定済み	その他
全産業	32.9%	14.5%	14.7%	11.1%	14.2%	11.1%	1.5%
製造業	35.4%	13.3%	14.0%	10.8%	11.7%	13.8%	1.0%
卸・小売業	33.3%	13.9%	17.4%	11.4%	16.4%	4.5%	3.1%
建設業	22.4%	28.6%	20.4%	4.1%	12.2%	12.3%	0.0%
サービス業	23.0%	14.9%	9.2%	16.1%	25.3%	9.2%	2.3%

3 BCP 策定伴走支援の活用希望

業種	伴走支援する取り組みについて		
	希望する	希望しない	分からない
全産業	8.8%	45.5%	45.7%
製造業	9.5%	44.8%	45.7%
卸・小売業	8.1%	43.5%	48.4%
建設業	7.1%	50.0%	42.9%
サービス業	7.2%	52.2%	40.6%

〔調査の概要〕

- 1 調査時期 2025 年 3 月 1 日から 3 月 10 日まで
2 調査対象期間 実績 ----- 2025 年 1～3 月期
見通し ----- 2025 年 4～6 月期

3 調査内容

- 業況判断、売上、資金繰り、販売価格、主要原材料価格、仕入価格、主要資材価格、設備の稼動状況、顧客数及び在庫水準については、前年同期との比較。
○採算、設備投資、雇用人員及び金融機関の貸出態度については、当期の実績。

4 指数化の方法

D. I. : 業況判断指数 (ディフュージョン・インデックス)

業況判断 D. I. ----- 前年同期と比べて総合的な景況判断が「好転」したとする企業の割合から、「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値。

売上 D. I. ----- 前年同期と比べて売上が「増加」したとする企業の割合から、「減少」したとする企業の割合を差し引いた値。

採算 D. I. ----- 当期採算が「黒字」とする企業の割合から、「赤字」とする企業の割合を差し引いた値。

設備投資実施率 ----- 当期において設備投資を「行った」とする企業の割合。

資金繰り D. I. ----- 前年同期と比べて資金繰りが「好転」したとする企業の割合から、「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値。

雇用人員 D. I. ----- 当期において雇用人員が「過剰」であるとする企業の割合から、「不足」であるとする企業の割合を差し引いた値。

金融機関の貸出態度 D. I. -- 当期において金融機関の貸出態度が「緩い」とする企業の割合から、「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値。

販売価格 D. I. -----
主要原材料価格 D. I. -----
仕入価格 D. I. -----
主要資材価格 D. I. -----
設備の稼動状況 D. I. -----

前年同期と比べて販売価格、主要原材料価格、仕入価格、主要資材価格、設備の稼動状況が「上昇」したとする企業の割合から、「低下」したとする企業の割合を差し引いた値。

顧客数 D. I. ----- 前年同期と比べて顧客数が「増加」したとする企業の割合から、「減少」したとする企業の割合を差し引いた値。

在庫水準 D. I. ----- 前年同期と比べて在庫水準が「過剰」であるとする企業の割合から、「不足」であるとする企業の割合を差し引いた値。

(注) ・各指数の表示の合計は、端数により 100% とならない場合がある。

・業種によっては、サンプル数が少ないことから、結果に偏りが生じる可能性があることに留意する必要がある。

5 対象企業

以下の基準に該当する愛知県に本社を置く企業から無作為抽出。

製造業・建設業 -- 資本金 3 億円以下又は従業員 300 人以下

卸売業 ----- 資本金 1 億円以下又は従業員 100 人以下

小売業 ----- 資本金 5 千万円以下又は従業員 50 人以下

サービス業 ----- 資本金 5 千万円以下又は従業員 100 人以下

6 調査回答状況

区分	全産業	製造業	卸・小売業	建設業	サービス業
標本企業数	2,000社	1,230社	470社	100社	200社
回答企業数	1,012社	616社	248社	53社	95社
回答率	50.6%	50.1%	52.8%	53.0%	47.5%
(前回)	51.1%	50.7%	50.0%	66.0%	48.5%

本資料は、産業政策課の Web ページ(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyo-seisaku/keikyo.html>)で御覧いただけます。